

公民館	国見町	329冊	中島村	2,000冊
	霊山町	1,000冊	東村	2,000冊
	月館町	1,200冊	西郷村	1,000冊
	安達町	500冊	表郷村	300冊
	大玉村	1,000冊	塙町	2,000冊
	本宮町	2,000冊	矢祭町	1,000冊
	白沢村	500冊	山都町	600冊
	東和町	800冊	会津高田町	500冊
	三春町	800冊	本郷町	600冊
	平田村	300冊	柳津町	150冊
	石川町	500冊	金山町	800冊
	浅川町	1,000冊	田島町	1,000冊
	矢吹町	1,000冊	小高町	900冊
	泉崎村	1,810冊		

その他 福島刑務所 1,000冊
計 32市町村 36,589冊

4 読書会用文庫

公民館やPTA活動の一環として、地域文庫・家庭文庫運営のための学習として、あるいは生涯学習時代を迎え同好の士が集まってサークル活動として、近年県内各地に読書会が誕生しているが、県立図書館では、それらの読書会のためにテキストを揃え、読書会運営のための相談に応じている。テキストは絵本から一般成人向けまで、1タイトル5冊～10冊まで、幅広く揃えている。

昭和62年度の登録団体数は19で貸出冊数は758冊であった。

5 普及事業

(1) 第35回福島県図書館大会

- ・期 日 昭和62年10月14～15日
- ・会 場 須賀川市文化センター
- ・参加者 公共図書館・公民館・社会教育関係職員、図書館協議会・公民館運営審議会委員、図書館利用者、各種文庫関係者、読書クラブの会員 140名
- ・講演 生涯学習に対応する図書館のあり方
文教大学助教授 野島正也
- ・意見発表 わが町の図書館運営
双葉町図書館長 井戸川鉄弥
公民館事業と図書室のかかわり
平田村中央公民館主事 大和田順子
図書館の利用について 小豆畑富子
- ・意見交換
司会者 岩瀬村図書館長 矢部甲明
助言者 文教大学助教授 野島正也
須賀川市図書館長 関根和男
県教育庁社会教育課主任教育主事 七島征

(2) 北日本図書館連盟奉仕部門（BM）研究協議会

- ・テーマ 利用を高めるために ―現状と課題―
- ・期 日 6月25～26日
- ・会 場 あづま荘

- ・参加者 北日本地区公共図書館、公民館図書室、その他関係職員 70名
- ・講演 移動図書館の今日的役割 ―地域の状況に即した移動図書館のあり方―
東洋大学教授 石井敦
- ・事例発表 移動図書館35年 ―現状と課題―
青森県立図書館館外奉仕係長 川村克則
農村におけるBM利用拡大について
岩手町立図書館館長補佐 平野高文
福島市における移動図書館車の役割
福島市立図書館主査 渡辺勝美
- ・紹介 最近の移動図書館車の動向
林田製作所営業課 田中幸秀
- ・研究協議
司会者 郡山市図書館長 伊東司

(3) 読書活動指導者養成講座

（一般コース）

- ・テーマ ことばに昔ばなしを
- ・期 日 昭和62年7月7日
- ・会 場 県立図書館
- ・参加者 公共図書館・公民館職員、社会教育関係者、文庫世話人、一般 120名
- ・講師 筑波大学教授 小沢俊夫

（専門コース）

- ・テーマ 豊かで魅力あるポスターとチラシの作り方
- ・期 日 昭和62年11月25日
- ・会 場 県立図書館
- ・参加者 公共図書館・公民館職員、社会教育関係者、文庫世話人、一般 50名
- ・講師 福島大学講師 橋本章

(4) 子どもの本研究講習会

- ・テーマ 多感な心に、青春の栄養
- ・期 日 昭和62年9月9日
- ・会 場 郡山市図書館
- ・参加者 公共図書館・公民館職員、社会教育関係者、文庫世話人、一般 150名
- ・講師 晶文社社長 中村勝哉

6 広報資料の発行

(1) 館報「あづま」

第38巻第1～2号（通巻222～223号）を発行し、市町村教育委員会、図書館、公民館等へ配布した。

(2) 昭和62年版福島県公共図書館・公民館図書室実態調査

県内公共図書館・公民館図書室の実態を把握し、図書館活動の振興に資するため、昭和54年度から毎年実施し、報告書にまとめ、県内市町村教育委員会、図書館、公民館等に配布した。

昭和62年4月1日現在の調査結果の主要な点をあげると、市町村図書館と公民館図書室を合わせた蔵書冊数は、2,160、